

# 美しい森林づくり



## 「鱒ヶ沢町立西海小学校・舞戸小学校による育樹体験」

はじめて体験した育樹活動

津軽森林管理署

昨年、当森林管理署が初めて実施した育樹活動について報告します。

平成27年9月3日に、西海小学校の5年生18名を対象に、翌9月4日は舞戸小学校の4年生37名を対象に「北限の天然スギ」がある矢倉山国有林内のスギ造林地において育樹体験を行いました。この育樹活動のきっかけは、平成19年に鱒ヶ沢町教育委員会より現津軽白神生態系保全センターへ森林・林業への理解を深めるための学習として要請があったことから始まったもので、これまで「遊々の森」等で主に森林教室を実施してきましたが、平成27年度からは津軽森林管理署が主体となり、地元国有林内で育樹活動を実施しました。当日は地元森林官から場所の説明や伐倒時の注意等の指導を受け、各班に分れ足下に注意しながら、初めてスギ林の中に入りました。

参加した生徒達は初めて使う

のこぎりにチカラ加減が解らず悪戦苦闘し、形質の不良な細い木一本倒すのにかなりの時間がかかりました。

のこぎりの使い方を教えると先ほどよりも短い時間で倒すこ



コースター作りは楽しいな

とができました。子供達からは「意外と楽しい。」とか「やっぱ無理。」とか、いろいろな声が聞こえて来ました。倒したあとはスギの輪切りを作ります。コースターや紐を通して名札にしたりとかの工作がよほど楽しかつ



初めて鋸で作業する生徒

たのか、一人で3枚、4枚と作る子供もいました。

特に女の子はスギの皮が簡単に取れるので、「こっちの方がきれいでいいよ。」と友達と話をしていました。輪切りだけでは物足りず、枝打ちまでする子もできました。なぜこのような作業を行うのか子供達に教えなが



「北限の天然スギ」を囲んで記念撮影

ら1日目の作業も終盤を迎えるなか曇りの天気でしたが「北限の天然スギ」を散策することができました。子供たちは皆あまりの大きさに驚いていました。幹の周りを囲み計ったりして楽しみました。自分たちが手入れたスギがこの位になるまで、いつになるか気になっていて150年位かかるかなというところも驚いていました。

2日目は雨となり作業も早く切り上げ、残念ながら「北限の天然スギ」を散策することができなくなり場所を移して室内での座学となりましたが、子供達は初めてとなる育樹体験を楽しんでいたようでした。また、午後には津軽白神森林生態系保全センター職員による森林教室がおこなわれました。